

明光義塾、オリジナルキャラクター「サボロー」と 「YDK (やれば・できる・子)」復活のお知らせ

個別指導の学習塾「明光義塾」を全国展開する株式会社明光ネットワークジャパン（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：山下 一仁）は、明光義塾のオリジナルキャラクター「サボロー」が2023年春より復活することをお知らせいたします。また、来春のテレビCM放映に先駆け、2022年12月には、特設サイトやSNS動画の公開を予定しております。

オリジナルキャラクター「サボロー」は、明光義塾のコンセプトである“YDK (やれば・できる・子)”のヒーロー役として2014年に誕生しました。勉強をしようとする子どもたちの心のスキに入り込む誘惑を擬人化したキャラクターで、明光義塾のテレビCMや新聞折込チラシ、Webサイト、LINEスタンプ等に登場しています。

勉強を邪魔しにくる困りもののはずが、「サボロー」というユニークな見た目と、数々の誘惑の名言がSNSで大きな話題となり、その人気は子どもだけでなく大人にも広がりました。

サボローが表舞台から姿を消し5年。世の中は大きく変わりました。もちろん、お子さまの学習環境や甘い誘惑も。サボローがこの時代に戻ってきます。しかし、サボローは単なる敵ではございません。メリハリを持って付き合えば、味方にもなります。明光義塾がサボローとのうまい付き合い方を教えます。



サボローの特徴



- ・勉強中、ふとした拍子に突然現れる。
- ・あの手この手を使って勉強をさぼらせようとする。
- ・勉強の邪魔をしたり、誘惑する目的で、マンガ、お菓子、ゲームなどを所持している。
- ・人の心のスキに入り込むのがうまい。
- ・要領がいい、ちゃっかりもの。
- ・友だちが大好きで、さみしがりや。

明光義塾の“YDK (やれば・できる・子)”とは

“YDK (やれば・できる・子) を本当にできる子に”は、2014年から明光義塾が掲げるコンセプトです。保護者を対象とした市場調査では、「自分の子どもはやればできると思うか」という質問に対して、8割以上が「はい」と回答しました。「自分の子はやればできる」という多くの保護者の潜在的な想いを汲み取り、明光義塾はそれに応えるべく「やればできる子を、本当にできる子に」なるようサポートしています。



時間の使い方が変わった。過ごす場所が変わった。

使う道具もいろいろ変わった。

かつてないほど大きな変化が時代に訪れたいま。
なんと、あいつまで、のこのこと、訪れたのです。
そう、愛らしくも憎たらしい、あのサボローが
時代に戻ってきました。

「よう、サボろうぜ」ささやかだけれど、根強い誘惑。
心の弱さを利用する、たくみなひと言。
大人ですら断るのが難しいあのいざないを、
子どもたちが容易にかわせるわけがありません。



ただ、明光義塾は思うのです。サボローは単なる敵じゃない。
メリハリを持って付き合えば、むしろ味方なんだと。
なんせあいつは、よく言えば、リフレッシュの天才ですから。

サボローとのうまい付き合い方、私たちが教えます。
「やればできる」と思える自分になれるよう、
どんな時でも人生にYESを出せる人になるよう、私たちは隣に立ちます。

やればできる。それは言うほど簡単ではないけれど。
人生で君たちといられる時間は、限られているけれど。
それでも、一緒にいる時は、絶え間なく君たちを励ましつづける。
それを本気で言っている、熱い大人が、ここにはたくさんいるということ。
そのことだけは、覚えておいてください。

「やればできる」の記憶をつくる

明光義塾 2023



■株式会社明光ネットワークジャパン（<https://www.meikonet.co.jp>）

事業内容：企業としてPurpose（パーパス：存在意義）を“「やればできる」の記憶をつくる”、Visionを“「Bright Light for the Future」人の可能性をひらく企業グループとなり、輝く未来を実現する”と掲げ、個別指導塾「明光義塾」を始め、様々な教育サービスを運営・フランチャイズ展開をしています。

※プレスリリースに掲載されている内容、仕様、サービス、お問い合わせ先、その他の情報等は発表時点の情報となります。その後予告なく変更となる場合がございますので、ご了承ください。

【本プレスリリースに関する報道関係者からのお問い合わせ先】

株式会社明光ネットワークジャパン

明光義塾事業本部 プロモーション部 担当：五十嵐

E-MAIL：meiko-pr@meikonetwork.jp